

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原小学校 会長名 市江 秀介

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 児童の安全確保と健康な心身の保持
 - (1) 生活安全標語の看板設置とクリアファイル作成
 - (2) 愛の一声運動（あいさつ運動）の実施
 - (3) ニュースポーツ「モルック」の開催
 - (4) 親子学習会（味噌づくり）、給食試食会の実施
- 2 よりよい学習環境の整備
 - (1) 親子奉仕作業、校内美化活動の実施
 - (2) 古紙、アルミ缶の回収
 - (3) ベルマークの回収、仕分け、集計作業

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- 1 児童の安全確保と健康な心身の保持
 - (1) 校内で交通安全標語を募集し、看板として正門前に設置した。また、P T Aとまちづくり協議会が連携して、交通安全標語の書かれたクリアファイルを作製し、全校児童に配布した。このような取組を行うことで、児童・保護者の交通安全に対する意識が高まった。
 - (2) 毎月15日に、正門やまちづくりセンター側通用門にて、あいさつ運動を実施した。児童がP T Aの方や教職員とあいさつを交わすことで、元気よく、笑顔で登校する姿が見られた。
 - (3) 三校合同モルック大会を実施することで、三校のP T A役員や教職員の親睦を図ることができた。また、今年度は親子学習会として、全校児童から参加を募り、親子モルック大会を実施した。保護者同士の親睦を深める良い機会となった。
 - (4) 味噌作りでは、一緒に作業することで、親子のコミュニケーションを図ることができた。給食試食会では、給食の栄養価や工夫、食育について知ってもらうことができた。
- 2 よりよい学習環境の整備
 - (1) 奉仕作業と校内美化活動を実施した。多くの参加者が集まり、普段の清掃ではできない箇所や草取りをしてもらうことにより、学習環境がより良くなった。
 - (2) 古紙回収強化月間を中心に、古紙やアルミ缶を回収した。収益は、学校の環境改善費用に充てることができた。
 - (3) ベルマークの回収では、年間6回の作業日を設け、多くの点数を集めることができた。集まった点数を、児童の活動に必要な物に変えることができた。

—反省点—

特になし。「子供たちの笑顔のために」を合言葉に取り組むことができた。

—改善案—

特になし。来年度以降も創意ある活動を進めていきたい。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 今泉小学校 会長名 鈴木 園子

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

【環境整備部】

- ・親子奉仕作業（5・9月）

【体育保健部】

- ・運動会駐車警備（5月）
- ・親子レク（ナイトウォーク）（11月）

【成人教育部】

- ・「会報 いずみ」発行（年2回：6月・3月）

【生活指導部】

- ・登下校の見守り
- ・かけこみ110番プレート点検・協力依頼
- ・運動会駐車警備

【家庭教育】

- ・給食参観
- ・卒業生に贈るコサージュ発注、準備

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・教職員だけではできないことを行うことができた。（奉仕作業、運動会）

—反省点—

- ・子供たちが登校する時間に旗振りをすると、仕事に支障がでる。
- ・PTAに加入しない（退会する）家庭が出てきており、そのような家庭の、コサージュ、PTA新聞などPTA活動に関する扱いを今後どうするか。

—改善案—

- ・PTAに加入しない家庭のコサージュについては、別途集金させていただく。
コサージュ以外の贈り物を検討する。
- ・PTA活動を見直し、負担を軽減する。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立伝法小学校

会長名 遠藤 祐佐

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

◎ P T A活動目標テーマ

伝法の今をつむぎ 未来をつなぐ ～すべては子どもたちのために～

- ・上記テーマの下、各部ごとにテーマの達成に向けた目標を掲げ、子どもを中心にしたP T A活動を計画した。令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したことにより、昨年度までに培ってきた実施時間や方法等を生かしつつ、新しいP T A活動を提案し、行事等を実施することにより、更に家庭・学校・地域が三位一体となって活動することができた。
- ・P T A総務会及び各部による、月に一度の清掃活動及び声掛け運動、子ども見守りパトロールを実施した。

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・1年間P T Aとして何ができるのか、何が必要なのかを学校や役員と様々な場面で協議し、今まで取り組んできた活動の意義や必要性を見つめ直しながら、新しい形の活動を提案することができた。また、会員の負担を減らす取組を行うことにより、参加する会員も増えてきた。
- ・P T Aと学校で「睡眠講座」合同で実施した。子どもたちが、学ぶ基本である生活習慣について講座を開催し、多くの方で子どもたちの健康について考えることができた。
- ・学校行事や活動に、部を超えて、P T A役員で声を掛け合いみんなで協力することができたことで、互いに信頼関係も深まった。
- ・P T A総務会及び各部による、月に一度の清掃活動及び声掛け運動、子ども見守りパトロールの実施により、地域や子どもたちの防犯意識が高まった。

—反省点—

- ・特になし

—改善案—

- ・今年度、出てきた意見を参考にしながら、P T A組織や各部のP T A役員数等の見直しを行い、来年度の活動につなげていく。
- ・子どもたちだけではなく、保護者も学び、新たなP T A活動の在り方を考えていきたい。そして、新たなP T A活動への更なる理解につながるよう、様々な取組についての広報・周知をしていきたい。

令和5年度 PTA 活動最終報告

学校名 神戸小学校 会長名 渡邊 弘行

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

学校・地域行事への参加協力を行い子供たちの健やかな成長と教育環境向上のサポートを行った。

- ・リサイクル活動
- ・学校奉仕作業
- ・通学路危険箇所アンケート配布・集計
- ・地域行事への協力（夏祭り・文化祭への出店・親子ふれあいスポーツ大会のスタッフ）
- ・防犯パトロール交通安全該当指導等

取り組みの効果

1. 2. 無（なぜ効果が出なかったのかを一反省点一に記入）

—具体的な効果—

- ・校内の環境美化、通学時の安全確保・保護者からの意識の向上
- ・地域行事による子供たちのあたらしい体験・楽しさの確保

—反省点—

- ・親子奉仕作業として行わなかった為（暑さもあり時間も短く）しっかりと清掃出来ていなかった。
- ・また、年々参加率が減少してきている一親子奉仕作業としていないのも原因の一つと考えられる。
- ・運動会の時期を見越して行う必要がある（奉仕作業）
- ・各行事による人員確保が役員のみとなっている（PTA 会員の人でも連絡して協力を得られればよいのではないか？）

—改善案—

- ・PTA 役員以外でも参加出来る形を作っていくよう発信し役員の負担を減らしていく
- ・親だけで行うのではなく子供をしっかりと巻き込む形で地域行事の協力を行っていく

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立元吉原小学校 会長名 小川 かおり

令和5年度 重点活動の具体的な取り組み内容

学校と保護者が協力して、子供たちにとって安心・安全な学習環境をつくっていくことを目指し、各部の活動に取り組んだ。

- ・成人教育部 ・PTA 便りを年1回（6月）に発行した。各家庭に学校の様子を分かりやすく伝えるため、教職員紹介コーナーを充実させたり、学校行事や授業の写真を多く掲載したりした。
- ・家庭教育委員 ・学校給食についての保護者の理解を深められるよう、給食試食会を実施した。給食を試食した後、栄養教諭が学校給食の目的などを伝えた。
・委員が選んだ卒業式のコサージュを6年生が投票して決定した。納品後に検品した。
- ・生活指導部 ・子供たちが安心・安全に登下校できるよう、見回りパトロールと交通安全指導を実施した。また、毘沙門天大祭に合わせて、特別パトロールを実施した。
・1、4年生の交通安全教室と6年生の交通安全リーダーと語る会に参加し、活動を補助した。
- ・体育保健部 ・5月に奉仕作業を実施し、プールサイドの草刈りを行った。また、運動会前には環境整備部と合同で奉仕作業を行い、校庭の環境整備を行った。運動会当日は、校内のパトロールをしたり、遊具の固定をしたりした。
- ・環境整備部 ・リサイクル業者の協力を得て常設の古紙回収コンテナを設置し、古紙回収を行った。年2回は、古紙回収強化週間を設け、保護者や地域に協力を呼び掛けた。
・子供たちが安全に校庭で運動ができるよう、体育保健部と共に奉仕作業を行った。（ボランティアで多数の保護者が参加した。）

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・環境整備部と体育保健部が合同で実施した奉仕作業に、多くの保護者が参加した。ボランティアを広く募ることで、専門部員の負担も軽減された。

－反省点－

- ・一部の専門部や役員に、計画や運営の負担が掛かってしまっている現状がある。

－改善案－

- ・月一回開催している支部長会（役員会）で学校の現状を共有し、各部のよりよい活動に生かせるようにしていきたい。
- ・事務局と各部の部長・校内部長との連絡を密にし、効率よく活動を進めていきたい。
- ・来年度はPTA新聞の発行を取りやめるため、PTAの広報活動をHP等を有効活用して効果的にしていきたい。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立東小学校

会長名

内野 幸範

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T 総会(参集)
- ・ かけこみ 110 番
- ・ P T A 環境整備作業(地域の方、子供たちと共に取り組む)
- ・ はるやま祭り
- ・ 浮島スポーツフェスティバル(地域と合同体育祭)の実施
- ・ 文化祭
- ・ どんど焼き

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・ 新型コロナウイルスが5類に移行したことで、はるやま祭りや文化祭など子供が楽しみにしていた行事が再開した。P T Aでは、フランクフルトやアイスの出店を出したり、子供たちが踊りを披露したりすることで、祭りを盛り上げることができた。
- ・ 地域と合同で行った浮島スポーツフェスティバルでは、P T A種目を作ったり、中学生が手伝いをしに来たりと、学校・P T A・地域・中学生がつながる行事になったことが効果である。
- ・ どんど焼きをP T Aが主催したことで、多くの児童が参加できた。

—反省点—

- ・ 土日に行われるP T A活動での割り振り。
- ・ はるやま祭りや文化祭で、学校の負担が大きくなるような活動の仕方。

—改善案—(昨年度から引き続いて)

- ・ 昨年度も文化祭の出場者は有志で募ったので、今年度も同様にしたい。浮島スポーツフェスティバルでの演目を披露することで、子供にも負担なく楽しんで出場できるようにしたので、引き続き検討していきたい。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立須津小学校 会長名 遠藤さとみ

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

PTA 総会、かけこみ 110 番、古紙回収、校区内巡視、PTA 新聞発行、奉仕作業、運動会巡視、ポッチャ大会、給食見学会、須津地区文化祭、安全の日、コサージュ準備

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・古紙回収の収益金が役立った
- ・子どもたちも古紙回収を意識してくれた
- ・古紙回収の利益で学校の必要な物品が購入できる
- ・古紙回収で、収益がとれて、子供たちのためになった
- ・地域も含めたコミュニケーションは必要
- ・ポッチャを親子で体験し楽しさを知れた
- ・ポッチャに子供と参加してとても楽しかった
- ・子供達の様子を見れたり、学校と親との関わりをとったりする事ができたと思う
- ・須津の活動が良くしれたり、交流がふかめられたりした
- ・子どもの安全について考える機会があった
- ・取り組みをした事で、子供たちが過ごせやすいよう協力できた事
- ・子供たちがどのように給食の時間を過ごしてどのように給食が提供されているか把握できた。
- ・文化祭で、自分の子だけでなく他学年の子の作品が観られて、小学校における子どもの成長を感じられた

—反省点—

- ・奉仕作業やポッチャの参加人数が少ない
- ・奉仕作業の参加人数が少なかった
- ・古紙回収の収益金の使い道をはっきりする
- ・もっとたくさんの方に参加してもらいたい
- ・効果よりも担当者への負担が大きいものがある
- ・役員だけが大変
- ・子供が少ない地区なので、毎年役がつく
- ・テレビでの総会は、聞き取りにくかった

—改善案—

- P T Aの活動について理解していない方が居ると感じる。説明の場が必
- 授業参観のついでにアルミ缶回収したり、草取りをお願いしたらどうか
- 参加型の行事についてはもう少しアピールが、必要かもしれない
- ボッチャの開始時間が早すぎる
- 奉仕作業は、日程を考えることで参加人数が確保できるかと思う
- 古紙回収については、使い道をしっかり伝えることでよりたくさん回収に協力していただけるかと思う
- ボランティアや外部委託できるものは検討していただきたい
- ボランティア活動にしてほしい

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第一小学校 会長名 久保田 誠

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・10/7（土）校内環境整備作業（環境整備部）：約80名の保護者と教職員で、普段できない校内の清掃や側溝の整備などを行った。部の活動テーマ「子供たちが健康に過ごせる環境づくり」に迫ることができた。学校の中の様子が分かると保護者に好評で、尚且つ、校内がきれいになったと子供たちは感動していた。
- ・地域の行事等への動員：地域とともにある吉永一小P T Aとして、地区文化の発展と行事成功の一端を担った。具体的には環境整備や駐車場誘導。
- ・読み聞かせ（家庭教育部 年4回）：子供たちの豊かな情操を育むことに寄与した。
- ・食育講座（家庭教育部）やふれあいリクリエーション（体育保健部）は、参加希望者少数の為、開催を断念。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

上記にもあるが、環境整備作業は保護者、子供たち両者にとって価値のあるものであった。

読み聞かせは、C S活動とかさなるので、C S活動に一本化で考えている。「一本化の方が良い」ことが分かった。

新型コロナウイルスが5類に移行したことを機に、活動をコロナ以前に戻すものと削減・縮小するものとで精選する時期であると考え、希望少数の活動は、無理に動員をせずに開催をしない方針を取った。家庭環境の変化、時代の変化により、本校地区では上記にある食育講座やレクリエーションが求められていない実態が分かった。来年度、講座もレクリエーションも企画し、会員に提案するが、それでも募集少数の場合、活動として継続するかどうかを判断したい。

今年度はこれらのことがはっきりしたこと、明確になったことが「効果」だと考える。活動の改革のための資料・データ・きっかけが見付けられたことになる。

－反省点－

P T A活動の内容の周知を徹底する。

P T A行事の精選によって、各専門部の活動が削減され、活動がほとんどない部が、生まれつつある。改変を考えている。

－改善案－

連絡ツールを紙からデータへ移行する予定。

家庭教育部の読み聞かせを始め、他の活動と統合できるものを統合する。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第二小学校

会長名 菊池 里香

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①年1回の朝のあいさつ運動（学校正門にて）
- ②P T Aリサイクル活動（年1回の古紙回収）
- ③P T A親子クリーン作戦（年1回の親子奉仕作業）
- ④スポーツフェスティバルへの協力
- ⑤P T A読み語りを実施（年1回）
- ⑥P T Aいちょう新聞の発行（年1回）

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ①登校の様子を見守ることで、あいさつの声とともに1日が始まる生活リズムを構築することができた。
- ②1回の活動で得られた収益金を、児童の健康アプリの活用に生かすことができた。
- ③児童では手が届かない清掃（室内高所など）を行うことができた。地域のふれあいボランティアの皆さんにも参加していただくことで、樹木の選定などを行うことができた。
- ④教職員の人数が少ないため、片付けやごみ拾い等手が足りない部分を補うことができた。
- ⑤朝の活動時間に読み聞かせをすることで、児童が楽しい気持ちで朝のスタートを切ることができた。

—反省点—

- ・児童減少に伴う、活動内容のスリム化と役員負担軽減

—改善案—

- ・会則の改正により、学年全体で各部を担当する仕組みへと変更した。各部員がメールで連絡を取り合うことで、執行部の負担をでいるだけ分散した。
- ・総会を書面決議に変更した。
- ・執行部発案のP T A行事「星を見る会」「吉二小 diary」を行った。親子で楽しむことができ、P T A活動の魅力が自然に伝えることができた。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立原田小学校

会長名 宍戸 哲夫

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①古紙回収ボックスを活用しての古紙回収
- ②P T A校内美化活動
 - ・校庭内の草取り・樹木の剪定
 - ・校舎内の清掃（水道・トイレ・窓拭き）
- ③運動会への協力（児童応援席用テントの設営と片付け）
- ④P T A登校見守り活動

取り組みの効果

1. ④
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ①校外から校庭の中に古紙回収ボックスを置くことにより、管理しやすくなり、今後の活動が継続しやすくなった。
- ②150人を超える参加があった。校内のトイレや高窓など、児童では手の届かない所まできれいにすることができた。屋外では、ビオトープのせせらぎ園の樹木の伐採ができ、子供たちが安全に自然観察できる環境になった。
- ③児童用に14のテントを設営する必要があった。20人ほどのボランティアが集まったので、熱中症になることなく安全に活動することができた。
- ④当番の期間を週ごとに設定し、横断旗を無くすなど、当番活動がしやすいように変更した。

－反省点－

- ①地域の方からの協力が少なくなってしまったのか、昨年度より回収量が減ってしまった。
- ②③特になし。
- ④横断旗がないことで横断者と勘違いされてしまうという意見があった。

－改善案－

- ①お便りや回覧板でもっと周知する。
- ②③今年度の活動を基に行っていく。
- ④来年度からは原田まちづくり協議会に寄付していただいた横断旗を各家庭に配り、旗を使って活動していく。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 大淵第一小学校 会長名 宮田明子

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

古紙回収

奉仕作業

朝の安全声掛け活動

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
— 具体的な効果 —

- ・古紙回収、奉仕作業は学校や子どもたちの為になりました。
- ・朝の安全声掛け活動では、子どもたちが自分で注意して登校できるよう声掛け、あいさつをして子どもたちの元気な姿を見送ることができました。

— 反省点 —

朝の安全声掛け活動では、

- ・あいさつ活動で、車の運転手から「横断歩道に立っている保護者が、渡るのか分からなく危険。」という意見があった。
- ・未就学児を連れながらの見守りが危険。
- ・登校する自分の子より先に家を出て活動する。

等の意見がありました。

— 改善案 —

- ・廃止しようかと考えている。
- ・アンケートを取ってみる。
- ・地域にも広く声を掛け、保護者だけでなく、散歩等をしながらの「ながら見守り」を地域全体でできるようにしたいと考えている。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士第一小学校 会長名 法月 栄治

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 役員の負担軽減を目的とした組織改革
保護者、教員の負担軽減を目的とし、会議の精選、リモート会議の導入、役員立候補制の推進など行った。
- ② PTA活動としてプール清掃・樹木剪定・草刈り及び校舎内清掃を行う「PTA クリーン作戦」を年に2回行った。
- ③ 従来型の負担の多い「旗振り活動」を廃止し、会員の活動しやすい「登校時の全会員による見守り活動」を年に3回行った。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ① マチコミメールを利用して事前に資料を送ったり、会議の精選及び、リモートと対面のハイブリット会議を行ったりしたことにより、必要な情報は確実に共有するとともに、役員のライフスタイルに合わせたPTA活動となり、負担を減らすことができた。
- ① 本部役員立候補制により、4名が立候補した。
- ② プール清掃では、子どもたちが清掃した後多くの大人の手で仕上げを行うことができ、きれいなプール清掃に仕上げることができた。最後に大人が仕上げを行うということで、子どもや教職員の負担を減らすことができた。
- ③ 旗振り当番を廃止し、登校時の見守りをPTA全会員にお願いして実施したことで、偏っていた一部の会員の負担を減らせたことに加え、全会員へ「地域の子どもは地域で見守る」という意識を高めることができた。

—反省点—

- ① 立候補制により、本年度は本部役員立候補者が4名いたことにより成立したが、今後立候補者が出なかった時の対応の仕方が不十分。
- ① 地区理事の役割を明確にして発信できなかったこと。
- ① 本部役員内で業務の役割分担を明確にできなかったこと。
- ① できる人が、できる時に活動することを主目的としたため、一部の人が負担増になる状況が生じてしまったこと。

—改善案—

- ① 本部役員の立候補者が出なかった時の対応の仕方を検討していく。
- ① 地区理事の役割を改めて検討し、発信していく。
- ① 本部役員の業務の役割分担をしていく。
- ① 「できる人ができる時に活動する」の在り方は崩さずに、コントロールタワーを作り、ある程度の役割分担をしていく。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第二小学校

会長名 渡邊弘和

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

P T A組織改革

- ・ P T A担当部員の選出方法変更（くじ引き廃止）
- ・ できる範囲での P T A活動

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・ 校内で選出する P T A部員（成人教育、体育保健、環境整備、家庭教育）が足りていない場合は、長年くじ引きで P T A部員を決定していたが、今年度より P T A部員を希望者のみで運営する組織に変更した。縮小された部もあるが、できる範囲の P T A活動を行う方針にして部員の負担を減らすことができた。
- ・ 家庭教育副会長においては単 P と市 P の活動となっていたが、活動を軽減するため、来年度より市 P 家庭教育担当専任を選出し、家庭教育副会長の活動を単 P のみとした。
- ・ 地区で選出する P T A部員（生活指導）では廃止したいと申し入れがあった地区へ作業内容の説明を行った結果、立候補で部員は即決し、廃止は回避できた。

－反省点－

- ・ P T A組織改革の内容が保護者へ周知されていない。

－改善案－

- ・ P T A作業を軽減する、P T A部員を希望者のみとする等、P T A組織の改革を行っているが保護者へ周知されておらず、活動を誤解している保護者がいる。新一年生向けの保護者説明会では P T Aの活動を説明しているが、全校の保護者（P T A退会の保護者を含む）に向けての情報は発信していないので、来年度、「P T A組織・活動を説明する会」を開催して情報を発信する。
- ・ 地区で選出する P T A部員（生活指導部）を決める場合、長年の選出方法が根付いているため、くじ引き等の理不尽な方法で決めるのであれば、作業内容の説明を行い、部員の決定に協力して行きたい。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立田子浦小学校

会長名 渡辺百合香

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・給食試食会
- ・奉仕作業

取り組みの効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

ー具体的な効果ー

・新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となっていたが、今年度より再開。4年ぶりの開催となった。参加者数は、これまでと比べると減少したが、保護者の方々から自分の子供の様子が分かった、給食の話がいけてよかったという声が多数聞かれた。

・奉仕作業は昨年度よりボランティアで募集している。気軽に参加できるということで好評。親子での参加も多い。

ー反省点ー

ー改善案ー

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岩松小学校

会長名 橋本 悠子

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

〈環境整備活動として「親子でピカピカに！岩小クリーン大作戦」を企画・実施〉

① 活動に至る流れ

コロナ前、環境整備活動は週末に保護者の活動が主となる内容で半日かけて行ってきた。しかし、保護者の就業形態が多様化し、休日が土曜・日曜でない方が増えていること、子供の習いごとが休日に設定されている家庭が多いことなどをふまえ、休日に参加することが厳しいのではないかと考え、新しい取組方法を考えていくことから始めた。

② 主体は子供たち、そして、足りない所を手伝う姿勢

学校からの話によると、コロナ禍にて掃除の時間が短縮になった経緯があるとのことだった。また、子供たちの掃除では強い洗剤を使っての掃除はできないという事情を知る事ができた。子供たちが日々どのような掃除をしているのか今まで注目したこともなかったこともあり、まずは子供たちの掃除時間に親が参加し、一緒に掃除をしていく、そして、いつもの掃除方法を子供たちに教えてもらいながら足りない部分を親が手伝うやり方で環境整備活動を実施するという共通認識を PTA 理事会でもった。

③ 学校行事に併せて実施

就業している保護者にとって学校行事で何回も休みをとることは容易ではなく、学校行事と併せて環境整備活動ができたらいいのではないかという意見が聞かれた。授業公開日に併せることで保護者の方も参加しやすくなるのではないかと考え計画した。また、活動時間は20分と設定し無理のない時間でできることをやっていくということとした。

④ 環境整備という名称の変更

子供に環境整備は何をすることかを聞いてみたところ、「イメージが分からない。楽しくはなさそう」との意見があり、名称の変更は必要だと考えていた。今回 PTA 理事へ名称変更への意見を求め、子供と一緒に活動を行う事に意味があるという思いもこめて「親子でピカピカに！岩小クリーン大作戦」という名称とした。

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・活動後にマチコミアプリのアンケート機能を利用し、保護者に意見を募集した。
- ・授業公開日と併せて行ったことは活動に参加しやすいという意見が多く集まった。
- ・子供たちが普段どのように掃除をしているかを見ることができ、子供が掃除方法を教えてくれ一緒に活動し楽しい時間だった、時間も丁度良かった、という意見があったが、普段の掃除が10分で終わるため時間が長く感じた子供もいて、何をしたらいいのか分からなかったという意見もあった。
- ・子供からはいつもより丁寧な掃除ができたという意見があり、また、親子で普段の掃除はどのようにやっているという話ができて楽しかったと反応があった。

ー反省点および改善案ー

- 時間は 20 分くらいの設定でよい(これ以上長くすると子ども達が飽きてしまう可能性あり)
時間設定を活動開始前に説明する(放送内容が聞こえていない)
- 掃除する内容をもっと具体的に設定する必要がある。いつもの子供たちの掃除+普段できない部分の掃除(エアコンのフィルター掃除、窓やドアのサッシの掃除、体育館の器具庫の片付けなど)
- 運動場の石拾いなどは場所も広いので PTA 理事を指示役として配置しておけばよかったか。何をしたらいいか分からなかったという意見もあった。
- 掃除用具が足りない所もあった。補充が必要なため PTA 会費かベルマーク収益金で購入を検討する。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡小学校 会長名 日高 綾子

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・「かけこみ110番のいえ」親子で確認の実施
- ・P T A奉仕作業（プール、学校の外周り、校舎内トイレ等の清掃）
- ・P T A親子スポーツ交流会
- ・鷹っ子お化け屋敷
- ・令和6年度へ向けてのP T A組織の改編
- ・P T A 3校合同事業の開催

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・奉仕作業においては、P T Aの皆様に加え、地域の消防団の協力を得て、消防車からの放水を行っていただいたおかげで、短時間で効果的にプールをきれいにすることができた。
- ・鷹岡中、天間小とともに3校合同事業（講演会、インディアカ大会）を実施し、鷹岡中学校区の地域内でのつながりを深め、P T A行事等について情報交換を行うことができた。
- ・鷹っ子お化け屋敷では、P T Aの皆様に加え、地域の皆様や高校生もボランティアとして参加し、当日は小学生と楽しいひと時を過ごすことができた。
- ・令和6年度に向けて、誰もが負担感なく参加しやすいP T A活動を目指し、臨時P T A理事会を開催し、P T A会則を改正して、組織の大幅な変更を行った。

—反省点—

- ・今年度は、コロナ禍で縮小したP T A活動が、少しずつ戻ってきたが、進んで活動に関わろうとする会員の方が多くはなかったため、皆が参加しやすい活動にしているための改善策が必要。
- ・地区における役員を選出では、スムーズに決まらない地区があった。
- ・副会長の組織の中での役割が少なくなり、活躍の場面が減ってしまった。

—改善案—

- ・令和6年度は、多くの方々が気軽に参加しやすいP T Aを目指して、組織改善を行って1年目を迎えるので、何ができて何ができないか、事業計画をしっかりと精査する必要がある。
- ・奉仕活動は、消防団の方や保護者の方が多く参加できるよう、今年度土曜に行っていたものを日曜に変更する。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立広見小学校 会長名 濱嶋 祐樹

令和5年度重点活動の具体的な取組内容

- 成人教育部・・・PTA新聞の発行
- 環境整備部・・・古紙回収ボックスでの古紙回収、PTA・CS 合同奉仕作業
- 生活指導部・・・1年生の交通教室の協力、かけこみ110番の家の確認
6年生交通安全を語る会への協力、卒業生へのコサージュ発注
- 体育保健部・・・運動会への協力、プール清掃の下準備
- その他・・・新1年生の入学説明会でのPTA活動の説明

取組の効果

1. (有)
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

成人教育部

- ・PTA新聞の発行により、日々の教育活動や教職員の紹介、PTA活動を知ってもらえる機会となった。

環境整備部

- ・常設古紙回収ボックスにより、地域からも古紙の回収をすることができた。回収した古紙の利益で、図書館の本66冊と災害用携帯トイレ300回分を購入した。
- ・2回目の奉仕作業を親子参加にすることによって、学校内の草刈りや整備だけでなく、親子で楽しみながら活動することができた。

生活指導部

- ・1年生の交通教室、6年生の交通安全を語る会に協力したことで、児童の安全を守ったり、地域における児童の交通事情について把握したりすることができた。

体育保健部

- ・運動会中の見守りやテントの片付けに協力し、児童や教員の支援ができた。また、近隣への迷惑駐車をなくすことができた。

その他

- ・新1年生のPTA入会は100%になった。

—反省点—

- ・理事会は、集合形式とオンラインの併用で実施したが、役員同士のつながりが希薄になりやすかった。
- ・新役員の確保が難しかった。

—改善案—

- ・理事会は、対面、オンラインの両方で行い、役員同士のつながりだけでなく、教員と役員の連絡も密にしていく。
- ・PTA会長だけでなく、各部の部長を中心に活動を実施していく。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立丘小学校 会長名 増田圭佑

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・昨年度の取り組みを生かし、アフターコロナのPTA活動を模索した。
- ・コロナ前に行ってきたことをそのまま実施するのではなく、地域や家庭の状況なども考慮しながら、内容や方法の見直しを行った。各部の話合いや参加募集、アンケートなども、オンラインやメールアプリなどを活用することで負担削減を図った。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

【執行部】

- ・PTA総会の書面開催（4/26賛成多数により承認）
- ・就学時検診で新1年生保護者にPTA活動を宣伝し、入会をお願いした（全員入会）。
- ・メールを使い、執行部の役員同士で連絡や報告を行った。

【成人教育部】

- ・10月に親子アカデミー（飛行機の仕組みの理解と紙飛行機とぼし）を書面で実施。
- ・PTA新聞第6号～第9号の発行（学校ホームページにアップ）。

【体育保健部】

- ・11/5（日）親子グラウンドゴルフ大会を実施。約90名参加。
- ・昨年度は30分程度の内容だったが、今年度は規模を拡大し約2時間の行事となった。

【環境整備部】

- ・成人教育部に「アルミ缶回収ボックスの設置」をアピールするための新聞作成を依頼。
- ・10/21（土）PTA奉仕作業を実施。約60名参加。校舎内の高い所を中心に清掃を行った。

【生活指導部】

- ・旗振り当番の割り振り。毎月2回の校区内巡視。
- ・かけこみ110番の家の募集と継続確認。（5～9月）
- ・7/4（火）交通安全リーダーと語る会に参加。
- ・10/23（月）「かけこみ110番の家のマップ」を保護者に配付
- ・次年度の役員数の決定。令和6年度PTA役員名簿の作成。

【家庭教育部】

- ・11/21（火）給食試食会を実施。約60名参加。
- ・卒業生へのコサージュ作り（11月～12月）。
- ・卒業生の保護者へのメッセージカード作りの依頼。（1～2月）
- ・2/6（火）コサージュにメッセージカードを梱包。

－反省点－

- ・今年度も活動募集をオンライン上で実施したが、まだまだ参加人数が少ないと感じた。

－改善案－

- ・次年度も引き続き、役員の負担軽減を図りつつ、活動を増やしていきたい。
- ・グラウンドゴルフ大会は、児童に周知するためにポスターを作り、各クラスに配付したところ、約 90 名の参加となった。児童が興味・関心をもつことで参加人数が増えると思われる。PTA 奉仕作業も同じように児童に周知を図り、参加人数を増やしていきたい。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士見台小学校 会長名 竹本建一

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・コロナ禍前に行っていた地域の行事への参加を数年ぶりに実施した。実施方法もなるべく役員の負担にならない方法を工夫して行った。
- ・例年役員選出にかなりの負担を強いられていたことから、ブロック選出制からエントリー制への改革を行った。「やれる人が、やれる時に、やれることを行う」という活動指針を示し、同時に P T A という呼称を「すまいる委員会」という愛称で呼ぶことにした。さらに、運営委員会を公開し、活動を可視化した。

取り組みの効果

1. 有
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

- ・地域行事に P T A として参加したことで、子どもたちが楽しめたことに加え、P T A の親同士の交流にもつながった。
- ・役員選出をエントリー制にしたことで、半ば強制的に P T A 役員に選ばれることがなくなった。活動指針に賛同して「すまいる委員」にエントリーした方も少なくない。

—反省点—

—改善案—

- ・来年度から、すまいる委員（P T A 役員）の人数が 3 分の 1 に減るため、事業の企画はさらに絞っていく必要がある。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南小学校 会長名 木下 志保

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 ききょう新聞発行（年2回）
- ・生活指導部 交通安全街頭指導 1年・4年交通教室への協力
駆け込み110当番の家のお願いや点検・交換
- ・環境整備部 奉仕作業主催 古紙回収 遊具塗装 学区公園の清掃活動
- ・体育保健部 運動会協力 プール清掃協力 学校保健委員会への参加
- ・家庭教育部 運動会参加賞配布 卒業生コサージュ準備
- ・ふれあいクラブ 親子ふれあい教室の開催 奉仕作業協力

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・成人教育部 2回のPTA新聞を発行することができた。学校と協力して、会員の皆様が楽しめる新聞を作成することができた。
- ・生活指導部 各地域での連絡方法等を工夫して交通安全街頭指導、パトロールを実施できた。
- ・環境整備部 奉仕作業で、多くの保護者に御協力をいただき、運動場、校庭、校舎内等をきれいにすることができた。古紙回収の方法を工夫し、学校行事と連動して実施した。
- ・体育保健部 運動会では、駐輪場の設置、見回り、パトロール等、運動会運営の協力をスムーズに行うことができた。
- ・家庭教育部 運動会の参加賞の準備や卒業生のコサージュの準備を通して、子どもたちが意欲的に取り組めるようサポートできた。
- ・ふれあいクラブ 昨年度に引き続き、親子で楽しめる体験型の企画である「親子ふれあい教室」開催した。また、各専門部の補助を行った。

－反省点－

- ・運動会の参加賞やコサージュ等は、今年度は全校児童・卒業生に用意したが、非PTA会員の児童に対して、今後はどうしていくべきか、課題が上がった。
- ・PTA理事や部員の選出において、スムーズに受けていただけない場面もあった。

－改善案－

- ・今後は、運動会の参加賞を廃止するか、PTA予算からではなく、学年費から支出し、発注等の活動は、PTAで行うようにするよう検討する。
- ・PTA活動の精選をすすめ、PTA新聞のレイアウトの刷新等の工夫と併せて、活動の様子を分かりやすく発信し、親しみやすい開かれたPTAにしていく。
- ・PTA理事や部員の選出方法の事前打ち合わせ会議を、年間計画に位置付ける。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立天間小学校 会長名 小畑 千恵

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したのを受け、P T A活動を考えた。
- 2 各専門部の活動
 - 【各専門部で輪番】
 - ・毎月15日を基準に、学区内3か所にて朝の登校指導を行った。
 - 【本部】
 - ・教職員、PTA役員、地域の方、6年生の保護者、児童で奉仕作業を行った。
 - 【成人教育部】
 - ・P T A新聞作成に向けた取材活動は少ない人数で実施した。
 - ・P T A新聞年2回発行。(例年通りの紙面内容)
 - ・12月の収穫祭に合わせて、「しゃしんやさん」を実施し、子供たちに行事の写真を提供した。
 - 【生活指導部】
 - ・かけ込み110番の家へ挨拶に行った。
 - ・長期休み明け登校指導に、全家庭年1回、協力していただいた。
 - ・各家庭に安全ベストを配付し、登校指導、P T A活動時への着用をお願いした。
 - 【環境整備部】
 - ・地域の協力を得て、米作り活動を実施することができた。
 - ・12月に収穫祭で餅つき体験の手伝いをおこなった。
 - ・古紙、アルミ缶を学校にて常時回収した。
 - 【体育保健部】
 - ・運動会の用具の片付けを行なった。(6月)
 - ・体育館の清掃活動に参加した。
 - 【家庭教育委員】
 - ・卒業生へのコサージュは、完成品の購入にした。
 - ・給食試食会は、2回実施した。それに伴い、配膳のお手伝いをした。

取り組みの効果

1. **有**
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- 1 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したのを受け、P T A活動を考えた。
 - ・コロナ禍前に戻すのではなく、無理をせず可能な範囲で活動を実施した。
- 2 P T A会則改正後の会員加入
 - ・新1年生就学時健康診断でのPTA団体、PTA活動についての説明をし、2月の入学説明会で、新1年生の家庭にPTA確認書提出をお願いした。全家庭が提出してくれた。
- 3 各専門部の活動
 - 【成人教育部】
 - ・PTA活動、学校行事が昨年度よりは実施できたものが多く、取材活動もほぼ例年通りに行うことができた。
 - ・12月の収穫祭に合わせて、「しゃしんやさん」を実施し、子供たちに行事の写真を提供した。
 - 【生活指導部】
 - ・長期休み明け登校指導は3年目を迎え、全家庭が無理のないように実施した。保護者の協力も得られている。
 - ・各家庭に配付している安全ベストの着用率も高くなってきている。

【環境整備部】

- ・米作り活動を支援することができた。学校、地域、PTA との連携・協力体制が確立してきている。
- ・12月に収穫祭で餅つき体験の手伝いをおこなった。
- ・古紙、アルミ缶回収のお知らせを地域にも発信したことで、保護者だけでなく地域の方からも回収に協力していただいた。

－反省点－

1 P T A活動を考える

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したのを受け、これからの P T A 活動をどう運営していくか、縮小していくか難しさを感じた。

2 各専門部の活動

【本部】

奉仕作業の実施時期や方法等、工夫する必要があると感じた。

【体育保健部】

インディアカ教室への参加者がほとんどいないため、来年度は新しい企画を考えている。

－改善案－

各専門部の活動

- ・「誰でもできる活動」にするため、各部の活動内容をさらに見直し、活動の精選を図りたい。
- ・各専門部の活動について、活動内容の変更、実施方法の工夫等を図っていく。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松北小学校 会長名 山崎 良平

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 奉仕作業1：プール清掃
- ② 奉仕作業2：トイレ清掃
- ③ 地区パトロール及び「かけこみ110番のいえ」の確認

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ① 奉仕作業1：プール清掃
→子供たちとともに活動することで、有意義な活動となった。
→子供たちが、気持ちよく、水泳授業を受講することができた。
- ② 奉仕作業2：トイレ清掃
→年に一度の酢酸を用いた本格的なトイレ清掃により、1年を通してにおいの軽減したトイレを維持できた。
→名札を付け、保護者同士がコミュニケーションを取りながら行えた。
- ③ 地区パトロール及び「かけこみ110番のいえ」の確認
→夏休み前に子供たちとともに、教職員・保護者が各地区のパトロールを行い状況の確認することで、地域で過ごす時間が増える夏休み期間の事件事故の未然防止に効果があったと考えている。

－反省点－

- ①動きが分かりにくかった。協力してくださる方に分かりやすく段取りを示せるとよかった。
- ②参加人数がもっと増えるとよい。トイレだけでなく他の場所もできるとよい。
- ③暑くて大変だった。

－改善案－

- ①6年生が行う学校行事として位置づけ、PTAにはサポーターとして協力依頼する
- ②参加しやすいPTA活動（子供も一緒に・学校行事と兼ねる 等）
- ③時期の検討が必要。（5月頃実施予定）

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士中央小学校 会長名 村上 和也

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

「子どもたちのため」「できることをできるときにできる人が」などの共通理解のもと、P T A活動のスリム化を目指した。

- ・各部の事業の見直し
- ・各部員制度の廃止
- ・3年役を2年役へ変更し、本部役員の削減 など

取り組みの効果

1. ① 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・本部役員会の回数、時間が縮小した。
- ・本部役員のグループLINEにおいて、意見交換や共有ができ、各部という考えだけでなく、全体を見ることができた。

—反省点—

- ・部によっては、活動内容の検討が今後も必要。

—改善案—

- ・令和6年度、新しい体制でP T A活動を行いながら意見交換をし、次年度以降に向けての改善策を検討する。話し合いを通して出された改善案を次年度以降に引き継ぐ。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立青葉台小学校 会長名 井出 愛

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

【生活安全部】

- ・旗振り当番作成表作りの負担軽減のための話し合いと実施

【文化教養部】

- ・P T A新聞の発行（年に2回）

【環境整備部】

- ・親子奉仕作業の実施（5月と9月）
5月は役員と部員のみ、9月は全世帯対象とした

【体育保健部】

- ・あおぼみんなのスポーツ祭の協力と参加、学校敷地内安全点検

【家庭教育委員会】

- ・給食参観の実施、コサージュ発注

【P T A理事会】

- ・P T A役員選出方法の話し合い

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・P T A理事会にて、各部の活動内容の見直しと役員選出について話し合うことができた。各部の活動内容を「持続可能なもの」という観点で見直しを行い、それを行うことで役員の定数や任期など見直しができるのではないかと考えた。現在、地区ごとに役員を選出しているが、世帯数のばらつきも大きく、役員選出が難航している地区がある。今年度は、会長付きの副会長を募るお便りを出し、早い段階で副会長が選出された。役員も同様に、広く公募できないか、地区ごとではなく学年で選出はできないかなどいろいろな可能性について話し合いを行った。
- ・コロナの影響で中止になっていた給食試食会を給食参観という形で行うことができた。学校栄養士の話を聞いたり、子供たちの配膳の様子を参観できたり、有意義な時間になった。

—反省点—

- ・役員選出について、地区代表に任せる形になり、地区代表の負担が大きかった。

—改善案—

- ・役員選出について、いろいろな角度から考え、よい方法を探っていく。
- ・引き続き、「持続可能なP T A活動」をめざして改革を行っていく。

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第一小学校 会長名 望月 一輝

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

活動テーマ：保護者にも先生にも無理なく極力負担の無いP T A活動を目指して

具体的取組①会合の精選 本部・運営委員会で大筋を決定し、専門部会を極力削減

具体的取組②環境整備作業 有志による参加方式 雨天決行に伴い予備日設定省略

具体的取組③P T Aふれあいフェスタ ボランティアによる運営方式

→P T A役員としての精神的負担を軽減

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

具体的取組①会合の精選

検討メンバーの構成人数を絞ることで、活発な意見交換と素早い決定、身軽な運営が可能となった。会合が減ることで、保護者、教員の負担は大きく軽減された。

具体的取組②環境整備作業

天気に左右されがちな行事ではあるが、雨天でも実施可能な活動を計画することで、結果として予備日を設定する必要がなくなり、運営側も参加者側も負担を軽減することができた。

具体的取組③P T Aふれあいフェスタ

企画・準備段階においては、本部で検討を重ね準備を進めることで、多くの会員の負担を軽減することができた。コロナ禍明け初のイベントとなるため、手探りの部分も多かったが、本部役員の熱意で一応の成功を収めることができた。

－反省点－

具体的取組②環境整備作業

新年度の組織がP T A総会で承認されてから環境整備作業の実施予定日までがあまりにも短期間で担当はその準備に追われることになった。

具体的取組③P T Aふれあいフェスタ

当日の運営スタッフをボランティアに期待したのだが、児童会行事とのコラボ企画であったことや、近隣の幼稚園のイベントと重なったため、教員の手が使えず、思うようにボランティアも集まらず人手不足という状況となってしまった。

－改善案－

具体的取組②環境整備作業 計画時期の見直しを図る。（6月→12月）

具体的取組③P T Aふれあいフェスタ 学校行事、近隣の幼稚園等、地域のイベントスケジュールを踏まえて実施日を設定する。（11月）

令和5年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第二小学校 会長名 弓取 祐平

令和5年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 小学部・中学部の PTA 統合に向けて合併実行委員会を発足し、新 PTA の体制構築
- ② PTA 機関紙「おぐるま」の作成
- ③ クリーン作戦（プールの清掃、新校舎の清掃）実施
- ④ 登校時における交通指導、交通安全リーダーと語る会への参加
- ⑤ 「かけこみ 100 番の家」登録依頼
- ⑥ ノーメディアウィークの実施
- ⑦ 給食試食会の実施

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ① PTA 統合に向け、現在の小学部・中学部の PTA 活動を見直し、取捨選択することができた。
- ② 「かけこみ 100 番」では地域の協力を得て、登下校中の安全が確保できた。
- ③ 「クリーン作戦（奉仕作業）」により、児童たちが使用するプールや校舎の清掃・整備することができた。また、先生方と共同で作業することにより、一体感が深まった。
- ④ 「登校時における交通指導」では交通指導と見守りを行うことで児童の安全が保たれた。また、「交通安全リーダーと語る会」では児童と保護者で登校時の危険箇所や危険行為を語り合い共通認識することができた。

—反省点—

- ・「クリーン作戦」は、PTA 役員のみで対応したため、人数に限りがあり、実施できない箇所が発生してしまった。
- ・中学部の PTA と共同で活動する事業が少なかった。

—改善案—

- ・来年度のクリーン作戦では、中学部の生徒も含めてボランティアを広く募り、実施できるよう検討していきたい。
- ・来年度は小学部・中学部の PTA が統合することで、小中一貫校の特色を活かした活動を実施できるよう検討していく。